

ふじた

FUJITA

ご自由にお持ちください

No. 79

特集 患者と家族の生活再建を
支援する医療連携福祉相談部
医療連携福祉相談部 部門紹介
医療ソーシャルワーカー(MSW)とは?
FUJITA News
Information

特
集

患者と家族の生活再建を 支援する医療連携福祉相談部

医療連携福祉相談部は、地域連携室、入退院センター、医療福祉・心理相談室、肝疾患相談室から成り、医師・看護師・医療ソーシャルワーカー(MSW)・公認心理師・事務員の多職種で構成されています。「連携」と「相談」がこの医療連携福祉相談部の主な業務です。医療機関をはじめ、福祉施設や介護保険事業所などの「連携」により、患者さんを地域と繋ぐ役割を担っています。また、患者さんやその家族の様々な「相談」に対応することにより、心理的、社会的、経済的問題を解決できるように一緒に考えていきます。

さらに、地域の医療機関・介護施設・行政機関と密接に連携し、切れ目のない医療とケアの提供を目指しています。

患者さんやご家族に医療連携福祉相談部の活用方法を知っていただき、必要があった際には、その存在を思い出していただき、気軽に相談に来ていただける、そんな医療連携福祉相談部を目指して、日々活動しています。

左から看護師 吉田さん、医療ソーシャルワーカー 森さん、
医療連携福祉相談部 佐々木部長、公認心理師 西尾さん、事務員 野田さん

医療連携福祉相談部

部門紹介

入退院センター

入退院センターは、患者さんが安心して入院生活を送り、退院後も望む生活の場に戻るために、入院前から多職種が連携して患者さんのサポートを検討する部門です。そのため、患者さんやご家族の思いや不安を確認し、医師や病棟に引き継ぎ、入院後のケアに繋げる重要な役割を担っています。また、入院治療後の患者さんの状態を想定し、医療ソーシャルワーカーや患者さんの地域と連携をとり、在宅復帰等を素早く行えるように支援しています。

相談内容

- 入院に関する説明
- ・ 入院時の書類
- ・ 入院時の持ち物
- ・ 手術前の生活指導（口腔ケアや禁煙指導など）
- 療養生活に必要な情報の確認
- 内服や中止薬の確認
- 患者さん、ご家族の同意を得て、地域の関係医療機関や介護福祉サービス機関と連携
- 栄養指導
- 手術に関する説明

【場所】

外来棟 1 階 36 番
医療連携福祉相談部

【担当者】

看護師、薬剤師

【相談受付時間】

（平日）9：00～16：00
（土曜）9：00～11：30

【TEL】

0562-93-9471

医療福祉・心理相談室

医療・福祉・心理に関する様々な問題や悩みを抱える人々を支援するための相談窓口です。
疾患や治療に伴って生じる生活上の困難や、こころの不調、制度利用に関する不明点など、福祉・心理の立場から支援を行っています。必要に応じて、院内、院外の関係機関とも連携しながら調整を行っています。プライバシーに配慮しながら対応させていただきます。安心してご利用ください。

相談内容

- 医療費の支払いや生活費など経済的な不安に対する相談
- 身体障害者手帳や介護保険などの社会福祉制度の申請や利用方法
- 退院後の在宅介護や施設入所の相談
- 病気の不安や心配事の相談
- 子供の養育の相談
- 家族関係に関する相談など

【場所】

外来棟 1 階 36 番
医療連携福祉相談部

【担当者】

看護師、医療ソーシャルワーカー
（社会福祉士・精神保健福祉士）、公認心理師

【相談受付時間】

（平日）9：00～16：00
（土曜）9：00～11：00

【TEL】

0562-93-2920

職員集合！



肝疾患相談室

当院は平成22年4月に愛知県から肝疾患診療連携拠点病院に指定されました。それに伴い、愛知県から委託されて肝疾患相談室を開設しました。肝疾患相談室では、肝臓の病気でお悩みの患者さんやそのご家族の皆さんからの、肝疾患に関するあらゆるご相談にお応えします。

相談内容

【対象者】肝臓の病気
で不安を抱えている患
者さんおよびそのご家
族など

【相談内容】

- 肝臓の病気に関する
医療費助成
- 食事や運動など日常
生活の注意点
- 肝疾患の治療や検査
- B型肝炎訴訟
- B型・C型などの感
染に関する事など

【場所】

外来棟1階36番
医療連携福祉相談部

【相談受付時間】

(水曜日・金曜日)
9:00～16:00

【TEL】

0562-93-2279

【担当者】

看護師

地域連携室

地域連携室は、かかりつけ医を通じて、当院の受診を希望する患者さんの診療予約を調整する役割を担っています。その他にも、当院のセカンドオピニオン外来の申し込み窓口や、地域医師会との最新の医療情報共有を目的とした研究会の支援なども行っています。

相談内容

■ セカンドオピニオン
外来の予約・対応窓口
・他の医療機関を受診
している患者さんまた
はご家族に対し、病気の
診断内容や治療方針な
ど、当院の専門医が意見
をご提供いたします。

詳しくは
【藤田医科大学病院
セカンドオピニオン
外来】で検索

こちらから▶



【場所】

外来棟1階36番
医療連携福祉相談部

【相談受付時間】

(平日)9:00～17:00
(土曜)9:00～12:30

【TEL】

0562-93-2995

【担当者】

事務員



医療ソーシャルワーカー (MSW) とは？

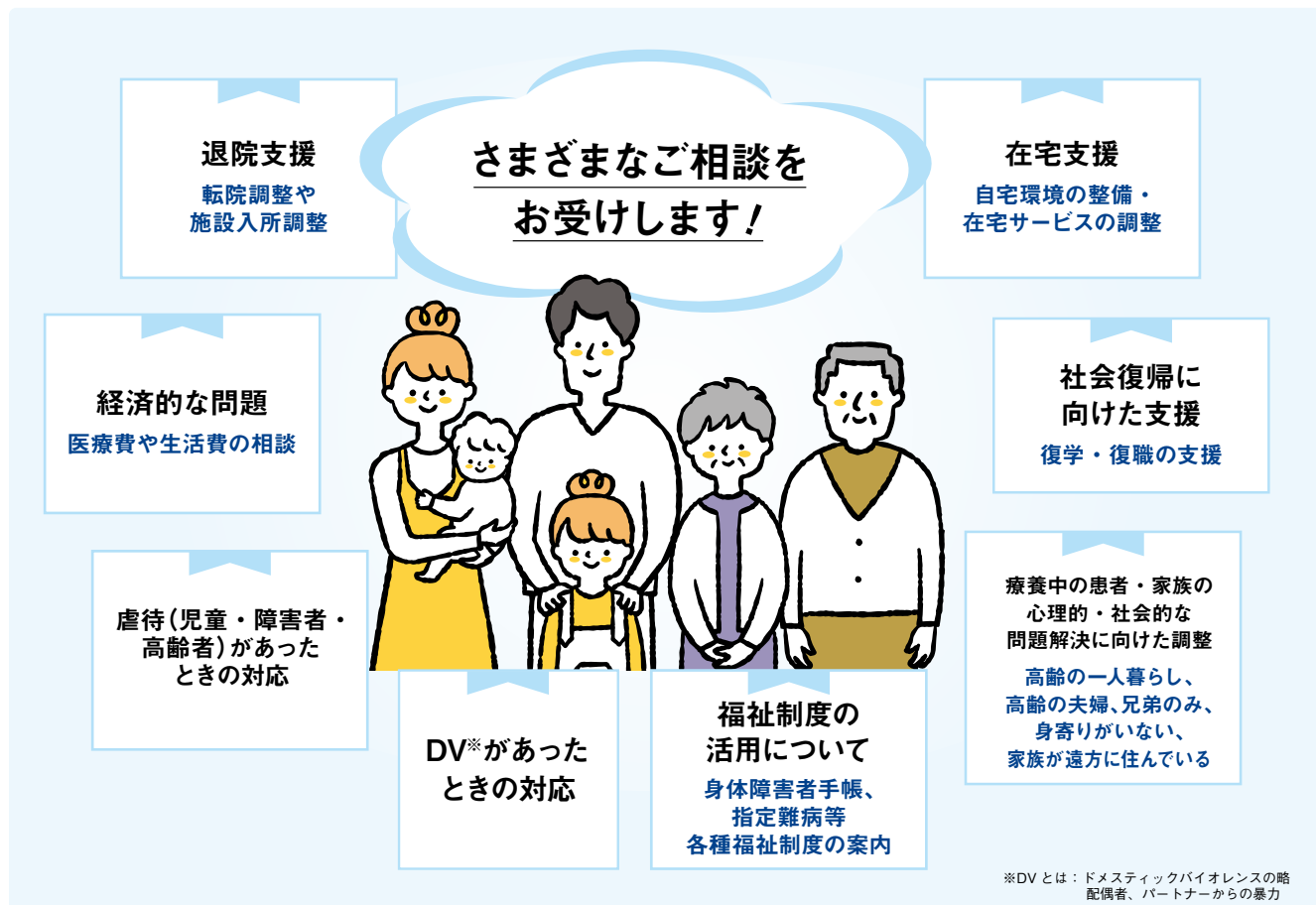
医療ソーシャルワーカー (MSW : Medical Social Worker) は、患者さんやそのご家族が抱える心理的・社会的なご不安やお困りごとに寄り添い、問題解決に向けた支援を行う専門職です。主な業務内容は下記の2つです。

1. 相談業務

患者さんやそのご家族からの相談を受けて、抱える問題や状況を把握し、適切な情報提供や解決に向けて一緒に考えます。

2. 関係機関との連携

地域の医療機関、福祉施設、行政機関などと連携し、患者さんの退院後の生活をサポートするための調整を行います。



医療ソーシャルワーカー (MSW) スタッフ紹介

原田 芹菜 さん

● 患者さんへのひとこと

私は小児科を担当し、入院や治療に伴う不安や今後の生活に関する心配事など、医療や福祉、生活の面から幅広くお手伝いさせていただいています。

お子さんの成長や発達、ご家族の想いに寄り添いながら、安心して過ごしていただけるよう心がけています。「ちょっと聞いてみたい」と思った際には、ぜひお気軽にご相談ください。



永田 貴子 さん

● 患者さんへのひとこと

私は産科を担当し、外来時から妊娠・出産・育児に関する不安や悩み、経済的な心配事、制度利用などのご相談にお応えしています。医師、助産師、公認心理師、地域の保健師をはじめとした多職種と連携し、

妊娠中から産後まで切れ目のない支援を心がけています。おひとりで抱え込まず、まずはお気軽にご相談ください。



水野 幸 さん

● 患者さんへのひとこと

私は、がん相談支援センターにて、がんに関する相談に対応しています。当院で治療中の患者さんやそのご家族の皆さんはもちろん、他院で治療中の方からのご相談にも対応しています。

がんと告知されたとき、再発が判明したとき、言い知れぬ大きな不安を感じると思います。まずは相談者の方のお話を丁寧に伺い、その方にとって今できることを一緒に考えたいと思っています。



患者さんに寄り添った支援を行っています！

転院

モデルケース
となる患者さん

患者	70代男性
家族構成	妻
背景	脳梗塞を発症し、当院に入院（麻痺、嚥下機能低下）
患者さんご家族の希望	自宅に戻って生活を再開すること、歩行や経口摂取※ができるようにしたい ※口から栄養摂取すること



MSWの対応

こちらの患者さんは、リハビリを目的とした転院調整の支援が必要となりました。リハビリ治療という次のステップに進むため、回復期リハビリテーション病院へ転院し、最終的には自宅退院ができました。

私たち医療ソーシャルワーカーは、転院調整が必要となった際に患者さんやご家族と面談を行い、今までの生活歴や家族状況、経済状況等の社会背景、今後の目標や希望等を聞き取ります。突然の「病気」や「事故」によって、不安や悩みは多く生じてしまいます。その不安等を少しでも解消し、「その人らしい生活」を取り戻すため、どこの病院への転院が一番適切か、医療ソーシャルワーカーは患者さんご家族に寄り添いながら一緒に考えます。

在宅

モデルケース
となる患者さん

患者	50代女性
家族構成	夫、子
背景	肺がんを患い、当院に入院
患者さんご家族の希望	残された時間を家族と自宅で過ごしたい

MSWの対応

医療ソーシャルワーカーは患者さんの思いを伺い、自宅退院するための準備を支援しました。自宅でも緩和医療が受けられるように在宅医や訪問看護師の導入を支援し、介護用ベッドのレンタルなどの療養環境を整えるためにケアマネジャーと連携しました。

退院前には、カンファレンスを開催し、患者さんやそのご家族、関係者との間で現状の確認や「最期まで自宅で生活をしたい」という患者さんの思いを共有した上で、自宅への退院を支援しました。退院後には、看護師のサポートを受けて、患者さんの趣味であった舞台をご家族で観に行くことができました。また、在宅スタッフの支援で、ご家族で最期の時間を自宅で過ごすことができました。

患者さんやそのご家族の思いが実現できるように支援することが、私たち医療ソーシャルワーカーの仕事です。



福祉相談

モデルケース
となる患者さん

患者	80代男性
家族構成	妻、子、孫
背景	慢性閉塞性肺疾患（COPD）を発症し、当院に通院中
患者さんご家族の希望	体動時に息苦しさがあり、通院することが難しくなってきたという相談



MSWの対応

通院が辛くなってきたといったご相談を受けた場合には、患者さんやご家族の皆さんに現在の生活状況を伺い、今後の療養環境について一緒に考えます。

通院が困難な場合には、訪問診療や訪問看護について主治医と相談の上、実際に事業所の調整をします。

また、日常生活動作や家族背景の状況に応じて介護保険サービスの利用や地域の支援機関との連携など、必要に応じた情報提供や手続き支援を行います。

ご自宅に居ながらも安心して医療を受けられるように多職種と連携して支援するとともに、患者さんの生活全般についてお話を伺いながら、患者さんに寄り添った細やかな支援を心がけています。

第14回



最近ハマっているのが、完全豆乳メーカーです！乾燥大豆とお水を入れてスイッチを押すだけで、簡単に豆乳が作れます。毎朝、手作りの豆乳にプロテインを入れて飲むのが日課です。栄養満点で、元気の源になっています。

富田さんの
元気の源



看護部 看護師
富田陽子さん
からの紹介で、
臨床工学部 臨床工学校士
橋詰英明さん
です。

STAFF 紹介 ALL FUJITA

看護部
看護師
富田 陽子 さん
(勤続22年)



放射線棟は、地下1階から地上5階までの各フロアにおいて、放射線に関連した検査や治療を実施しています。各フロアは、それぞれ専門性が高く特殊な検査が行われています。私は放射線科外来の看護師として、これまで長く3階のハイブリッド手術室での業務に従事し、運営にも携わってまいりました。現在はMRI・CT室を担当し、外来患者さんや入院患者さんが安全かつ円滑に検査を受けられるよう、スタッフの労務管理や業務調整を行っています。専門的な分野での検査や治療が多いため、患者さんに少しでも安心してもらえる対応ができるように後輩指導にも力を入れて日々取り組んでいます。

私の趣味はスキーです。幼い頃に親しんだスキーに再び魅了されたのは、社会人になってからです。グレンデで出会った師匠から技術を学ぶ中で、その教えが仕事にも活かされるのがあり、スキーは私にとって心と身体のリフレッシュだけでなく、自身を成長させてくれる時間となっています。雪山から見渡す街並みや山々、澄み切った青空の下で滑る時間は、日々の疲れを忘れさせてくれる癒しのひとときです。将来的には、バックカントリースキーにも挑戦してみたいと考えています。仲間と一緒に山を登り、雄大な景色を眺めながら温かいコーヒーを片手に語らう時間を、自然の中で過ごしてみたいです。

FUJITA NEWS WEB

「見るたびに FUJITA が好きになる！」をテーマにその時いちばんお伝えしたい情報を配信しています。ぜひご覧ください。



7月7日 津軽三味線演奏会・
大相撲鳴戸部屋
髪結実演開催



8月15日
夏休み医療体験イベント



『フジタビト』

本学で研究や診療に取り組む先生を紹介していく
シリーズ動画「フジタビト」
先生のお人柄や素顔にも迫っていきます。

FILE 31 救急総合内科
植西 憲達 教授



FILE 32 脳卒中科
松本 省二 教授

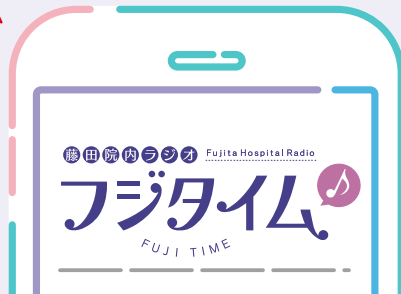


**24時間いつでも聴けます!毎月第1・3水曜日新プログラム
YouTubeで配信中!!**

院内ラジオ フジタイム

検索

無料



藤田医科大学病院が配信している院内ラジオ「フジタイム」は、医師や看護師、教職員、藤田医科大学の大学生がボランティアとして携わっています。フジタイムでは、最新の医療情報のインタビューや朗読、ホスピタルコンサートの演奏など多彩な企画を通して患者さんへ癒しをお届けしています。ぜひ、お聴きください♪

132回 病院長
今泉 和良先生が
出演!

4月より病院長に就任された今泉先生。藤田医科大学病院の強みや魅力、そして今後の展望や未来の医療の可能性についてお話しいただきました。



133回 医療連携福祉相談部
村川看護主任が
出演!

患者さんの退院支援を担当する村川さん。病院と地域をつなぐ懸け橋となるよう退院後の生活を見据えてサポートするやりがいや看護師として大切にされていることをお話しいただきました。



134回 看護部
高井部長が出演!

4月より看護部長に就任された高井部長。総勢1,800名を超える看護師をまとめる部長として、「患者さん中心の看護」を実践のために日々大切にされていることをお話しいただきました。



135回 形成外科
奥本 隆行教授が
出演!

患者さんが「より楽しく前向きに生きる」ための医療を提供する形成外科。他科と連携をしながら患者さんのニーズに合わせ、個々のQOL向上を目指して治療にあたる奥本教授のお話です。



136回 歯科・口腔外科
吉田 光由教授が
出演!

糖尿病と合併症シリーズ第一弾。近年、糖尿病と歯周病は深い関連性があるといわれています。気になるその関係性や歯周病の予防策について、吉田教授に伺いました。



Information 01

藤田医科大学病院 LINE 公式アカウント開設のお知らせ



藤田医科大学病院
FUJITA HEALTH UNIVERSITY HOSPITAL



**LINE
公式アカウント
はじめました。**

LINE 登録で
無料 Wi-Fi ご案内中!



友だち追加はこちらから

藤田医科大学病院からの配信



ニュースをお知らせ



季節の健康レシピ



毎月第1・3水曜日配信中!



秋の食材で体調を整える健康レシピ

夏の疲れが残りやすいこの時期は、体がだるくなり、食欲が落ちやすくなります。鮭にはビタミンB群やDHA・EPAが豊富に含まれており、エネルギー代謝や脳の働きをサポートしてくれます。さらに、さつまいもやきのこ、れんこんといった秋の野菜は、食物繊維が豊富で、腸の働きを整えるのに効果的です。酢の酸味と香味野菜でさっぱりと仕上げることで、疲れている時でも食べやすく、食欲を引き出してくれるメニューです。

／ 食養部が提案する ／

RECIPE 032

鮭の和風マリネ



おおよその栄養価 (1人分)
たんぱく質21.3g
脂質10.7g
塩分2.6g
ビタミンB60.68mg
食物繊維3.1g

過去のレシピは藤田医科大学病院の
LINE公式アカウントでご覧いただけます！
友だち追加はこちら ▶



材料 (2人分)

生鮭(切り身)..... 2切れ
塩 ひとつまみ
こしょう 少々
小麦粉 大さじ1
サラダ油(鮭用)..... 大さじ1/2
れんこん 30g
さつまいも 30g
しめじ 1/2パック
エリンギ 1本
玉ねぎ 1/4個
サラダ油(野菜用)..... 大さじ1/2
A: 酢 大さじ3
A: 醤油 大さじ1.5
A: 砂糖 大さじ1.5
A: おろししょうが 小さじ1
あさつき 適量

作り方

①さつまいもと皮を剥いたれんこんは3mmの厚さのイチヨウ切りにして、水にさらしてアクを抜く。
②しめじは小房に分け、エリンギは4cm程度の短冊に切る。玉ねぎはくし切りにする。
③生鮭は骨を除き4等分に切り、塩・こしょうをして小麦粉をまぶしておく。
④ボウルに調味料Aを入れて、マリネ液を混ぜておく。
⑤フライパンに生鮭用のサラダ油を引き、③の生鮭を両面こんがり焼いて火を通す。(くずれやすいので注意)
④のマリネ液に熱いうちに入れ、漬けておく。
⑥フライパンに野菜用のサラダ油を引き、①を炒めて半分まで火が通ったら、②も合わせて炒める。
熱いうちに⑤と合わせ、粗熱が取れたら冷蔵庫で20～30分程漬ける。
⑦器に盛り付け、小口に切ったあさつきを飾り完成。

管理栄養士：岡田菜々花 調理師：佐野一将

藤田医科大学病院が国の「脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業」 (心臓病担当施設)に採択されました

7月3日(木)、藤田医科大学病院は、「脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業実施法人」の「心臓病拠点」(センター長：循環器内科学 井澤英夫)として厚生労働省から採択されました。当事業は、継続的なサポートが欠かせない循環器疾患患者への支援強化に向け、2022年度より各県1カ所ずつ、循環器病の治療・情報発信拠点となる「脳卒中・心臓病等総合支援センター」の設置を進めているものです。愛知県は「2040年までに健康寿命の3年以上の延伸および循環器病の年齢調整死亡率の減少」を全体目標として掲げており、今後当院は、予防から治療、社会復帰支援を牽引する心臓病拠点として活動を行っていきます。なお、「脳卒中拠点」は名古屋大学医学部附属病院が採択され、2つの病院が協調して「愛知県脳卒中・心臓病等総合支援センター」として、行政、愛知県医師会や関連学会等の関係団体、患者団体、消防、介護保険事業所、高齢者の身体的・精神的ケアを担当する国立長寿医療研究センターとの連携を通じて、県全体での包括的な体制構築をめざします。

